

【地域の現状・課題】

- 傾斜面を活用した果樹や茶等の栽培、谷戸地での水稻栽培等が行われているが、担い手の確保が課題
- 樹園地では、農道の幅員が2~3m程度と狭く、また縦道(集落から上る道)が多いためほ場間の移動に支障
- 谷戸地の水田は10a未満の区画が大半であるため作業効率が悪い
- イノシシの生息域が拡大しており、農作物の直接的な食害以外に、掘り起しや畦畔の崩壊などの被害も多発

【地域の位置】



多様で豊かな農業と美しく活力ある農山村の実現に向けた支援 (優先枠等)

- 中山間地域のほ場整備事業を実施し、農地の大区画化により効率的な営農環境を整備し、農地中間管理機構と連携した取組により、担い手への農地集積を図る。

小区画、不整形な水田

大区画化による農作業の省力化



ほ場整備



かながわブランド「はるみ」

- 農道整備を実施し、果樹の集出荷作業等の効率化を推進。観光農園・オーナー制度等により都市住民を呼び込むなど多様な担い手の確保により地域の活力の増進を図る。

既存農道(縦道)を連結する幹線農道

都市住民による柑橘類の摘取り体験



かながわブランド「湘南ゴールド」

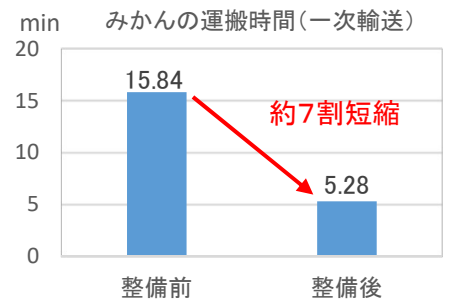
地域を下支え

地域コミュニティによる農地等の地域資源の維持・継承 (優先枠)

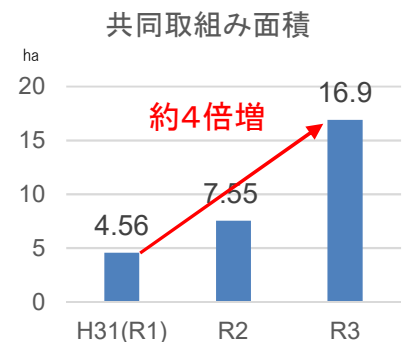
- 防護柵整備などの鳥獣被害防止対策の推進や、地域ぐるみの農業用施設の維持管理への支援など、地域を下支えする取組を展開
【鳥獣被害防止総合対策交付金、多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金】

【事業の効果】

- 農道を整備することにより中山間地の柑橘類の出荷効率が向上



- 中山間地域のほ場整備を契機に共同取組み面積が増加



鳥獣害防止柵の設置活動 (中山間地域等直接支払交付金)